



子どもの未来を語る会

去る1月14日（土）に本校視聴覚室で子どもの未来を語る会が開かれました。この行事は学校・PTAと地域社教の青少年育成部との共催で開かれていたものを昨年度から内容面や運営面を「きらら」の場で決めてきています。



例年通り講演会と話し合いの2部制で実施しました。今年の講演は「お茶の効用」と題して太陽化学株式会社の大久保勉様よりお茶の成分や効果などを詳しくわかりやすく教えていただきました。お茶どころ水沢であっても「お茶」についての詳しいことや専門的なことを知る機会が少なくなっている今、改めてお話を聞くことで認識を深めることができました。

～学校・保護者・地域住民が気軽に子どもたちのことで話し合いました。～

講演の後では学校より今年実施した子どもたちの生活実態調査の報告を行いました。その後9グループに分かれて子どもたちの生活実態に焦点をあてた話し合いを実施しました。内容は就寝時刻や食事・飲み物・ゲームについてなどでそれぞれ課題や問題を出し合い、前向きに生活リズムの立て直しを行っていくことの確認がなされました。一方でゲームやインターネットの問題を親としてどう解決していけばいいのかわからないという声も聞かれ、家庭での問題ではあるものの学校との連携の必要性が明らかになりました。



またこのような3者を交えた話し合いは意義があり今後も続けていくことや地域に子どもたちを見守り育てていこうという雰囲気があり、更に地域ぐるみで子どもたちの実態を知り、生活習慣を高め、良くしていこうということになりました。

コミュニティスクールアンケート

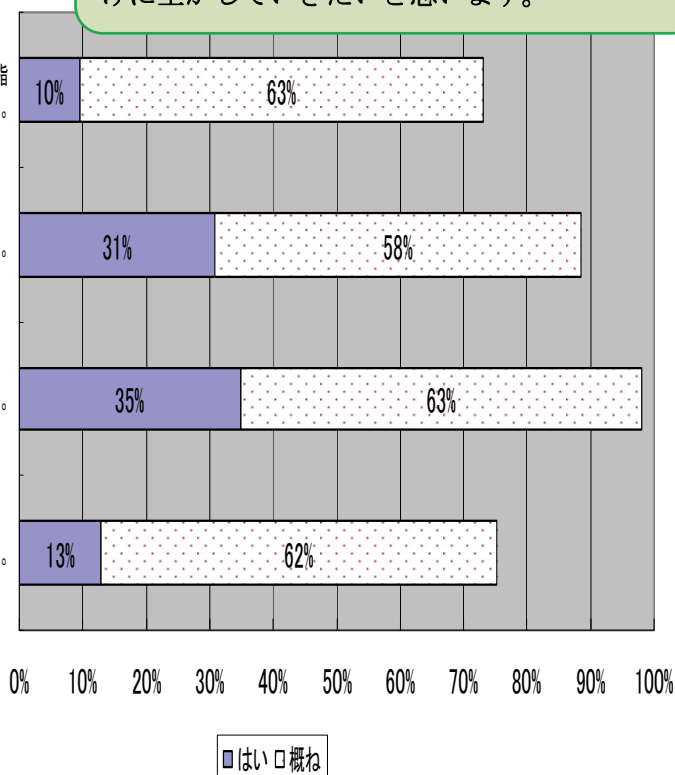
昨年末に保護者全員を対象にアンケートを実施しました。その結果をお知らせします。結果は今後の学校運営や「きらら」の方向付けに生かしていきたいと思ひます。

水沢小学校は、子どもの「生きる力」「地域や仲間とともに生きる力」を身につけた子どもの育成をめざし、市の指定により、地域とともにつくる学校「コミュニティスクール」の活動を始めました。あなたは、このことをご存知ですか。

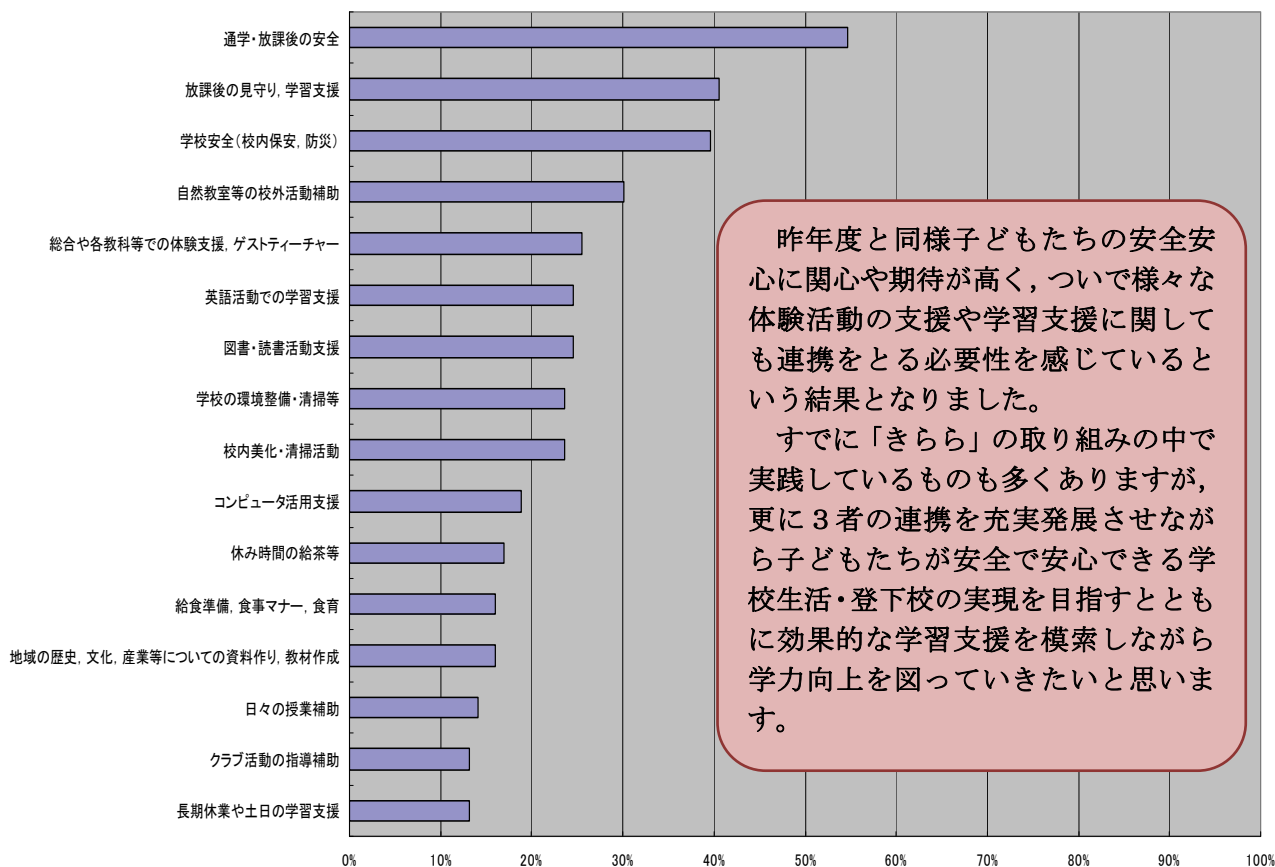
水沢小学校では、学校・家庭・地域が協力・連携して子どもの教育や通学時の安全にあたっていると感じますか。

あなたは、学校が家庭や地域と協力・連携して学校の運営を行うことは良いことだと思いますか。

あなたは、ボランティア等で学校の教育活動に参加することについてどうお考えですか。



学校・保護者・地域の連携協力が望まれる項目



昨年度と同様子どもたちの安全安心に関心や期待が高く、ついで様々な体験活動の支援や学習支援に関しても連携をとる必要性を感じているという結果となりました。

すでに「きらら」の取り組みの中で実践しているものも多くありますが、更に三者の連携を充実発展させながら子どもたちが安全で安心できる学校生活・登下校の実現を目指すとともに効果的な学習支援を模索しながら学力向上を図っていききたいと思ひます。